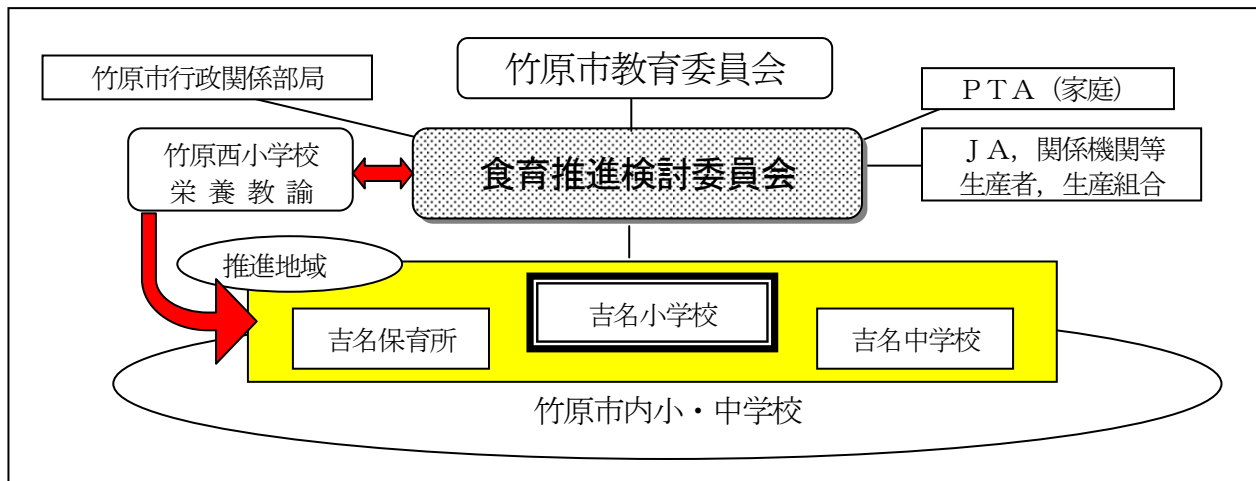


# 栄養教諭を中核とした食育推進事業 事業結果報告書

都道府県名	広島県
推進地域名	竹原市立吉名小学校

## 1. 事業推進の体制



## 2. 具体的取組等について

テーマ1	小・中学校等における発達段階に応じた系統的な指導の在り方			
<p><b>1 発達段階に応じた食育の指導目標と学習内容の系統表の作成</b></p> <p>①食育の指導目標の系統性 ⇒6つの目標を縦軸に、保育所・小学校・中学校を横軸にして作成した。</p> <p>②各教科等との関連の明確化 ⇒保・小・中連携をスムーズに進めるため、食に関する指導目標だけでなく各教科等における単元名も提示した。</p> <p>③各教科等の学習指導案の工夫 ⇒系統表との整合性を持たせ、具体的に評価規準を明記した。</p> <p style="text-align: center;">栄養教諭による専門的な知識や経験を生かした指導・助言（食育の重要性・系統的な指導内容等）</p>				
<p>【発達段階に応じた食育の指導目標と学習内容の系統表からの抜粋】</p>				
<p><b>食育の6つの目標</b></p> <p><b>社会性</b></p> <p>食生活のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。</p>	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;"> <p><b>吉名保育所</b></p> <p>友だちと仲良く食べようとする。</p> <p>【健康】 『楽しく食べよう』</p> </td> <td style="width: 33%; text-align: center;"> <p><b>吉名小学校</b></p> <p>低学年：正しい箸の使い方が分かる。                      中学年：食事のマナーを考えて楽しく食事ができる。                      高学年：楽しい食事を通して相手を思いやる気持ちを持つことができる。</p> <p>【国語】『地域との交流計画を立てよう』                      【総合】『吉名のじゃがいもをアピールしよう』</p> </td> <td style="width: 33%; text-align: center;"> <p><b>吉名中学校</b></p> <p>楽しい食事を通して望ましい人間関係を構築しようとする。</p> <p>【英語】『食卓での会話』                      【社会】『国際社会と日本』</p> </td> </tr> </table>	<p><b>吉名保育所</b></p> <p>友だちと仲良く食べようとする。</p> <p>【健康】 『楽しく食べよう』</p>	<p><b>吉名小学校</b></p> <p>低学年：正しい箸の使い方が分かる。                      中学年：食事のマナーを考えて楽しく食事ができる。                      高学年：楽しい食事を通して相手を思いやる気持ちを持つことができる。</p> <p>【国語】『地域との交流計画を立てよう』                      【総合】『吉名のじゃがいもをアピールしよう』</p>	<p><b>吉名中学校</b></p> <p>楽しい食事を通して望ましい人間関係を構築しようとする。</p> <p>【英語】『食卓での会話』                      【社会】『国際社会と日本』</p>
<p><b>吉名保育所</b></p> <p>友だちと仲良く食べようとする。</p> <p>【健康】 『楽しく食べよう』</p>	<p><b>吉名小学校</b></p> <p>低学年：正しい箸の使い方が分かる。                      中学年：食事のマナーを考えて楽しく食事ができる。                      高学年：楽しい食事を通して相手を思いやる気持ちを持つことができる。</p> <p>【国語】『地域との交流計画を立てよう』                      【総合】『吉名のじゃがいもをアピールしよう』</p>	<p><b>吉名中学校</b></p> <p>楽しい食事を通して望ましい人間関係を構築しようとする。</p> <p>【英語】『食卓での会話』                      【社会】『国際社会と日本』</p>		
<p><b>2 作成した系統表の活用</b></p> <p>①吉名保育所との交流活動</p> <p>&lt;ねらい&gt; ・吉名の特産物であるジャガイモを活用し、人とのつながりを通して社会性を育む。</p> <p>&lt;活動内容&gt; ・地域の生産者に指導を受け、吉名小5年生と保育所年長児がジャガイモ収穫体験活動をした。                      ・吉名小5年生が企画した交流活動を楽しんだ。                      （掘り立てのジャガイモを調理して食べる等）</p>				

②吉名中学校との交流学习

<ねらい> ・吉名の特産物であるジャガイモについての交流学习を通して社会性を育む。

【中学生からの発信場面】



【交流学习の場面】



【小学生からの発信場面】



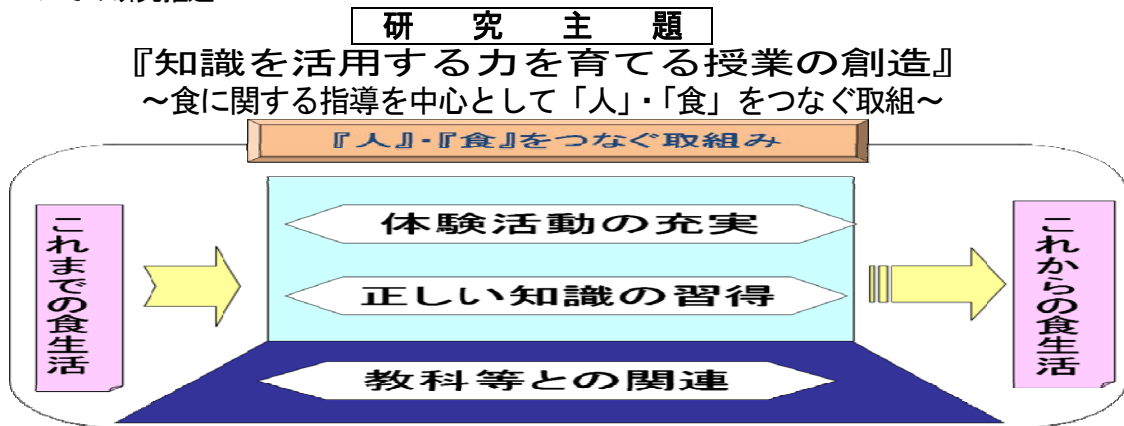
「吉名町の農業従事者はだんだん高齢化してきているそうです。後継者を育てるための活動をしてられるそうです。」

「吉名のジャガイモはかつて生産量日本一に輝いたことがあり、昔の人々の知恵や苦労について学ぶことができました。」

テーマ2

各教科等における食に関する指導の充実のための方策

1 食育についての研究推進



○平成21年10月7日竹原市内及び、県内・県外から多数の参加者を得て公開研究会を実施し、食に関する取組を公開した。

学年	教科	食の目標	単元名	指導形態の工夫	食育のねらい
1年	道徳	心身の健康	しいたけぼうや	GT (保護者)	嫌いなものでも親しみを持つことができる。
2年	生活	食文化に関する理解	もっとまちの人となかよくなるよう	TT (栄養教諭)	自分の住んでいる身近な土地でとれた食べ物を知る。
3年	社会	感謝の心	ものをつくる人々のしごと	GT(JA三原)	多くの人の努力を知り、感謝の気持ちを持って食べることができる。
4年	特活	食文化に関する理解	家庭や地域に伝わる料理を大切にしよう	TT (養護教諭)	地域の産物に興味を持ち、日常の食事と関連付けて考えることができる。
5年	総合	社会性	吉名のジャガイモをアピールしよう	TT (本校教諭)	楽しい食事を通して相手を思いやる気持ちを持つことができる。
6年	家庭	食品を選択する能力	楽しい食事をくふうしよう	TT (専任栄養士)	栄養バランスを考えて、1食分の調理計画を立てることができる。
特	生単	食の重要性	買い物に行って料理をしよう part 2		食べ物に興味関心を持つ。

2 学級担任と栄養教諭等とのチーム・ティーチングによる効果的な指導の在り方

栄養教諭とのチーム・ティーチング



【2年 生活科】  
栄養教諭から大根の間引きの意味を聞いた後、いっしょに体験活動をした。また、間引き菜を使って菜飯を作った。



旬の野菜のよさ

専任栄養士とのチーム・ティーチング



【6年 家庭科】  
専任栄養士から栄養バランスについての専門的な話を聞き、1食分のメニューを考えた。

栄養バランスの大切さ

### 3 地域人材を活用した交流体験活動の実施

I A三原の方から



【3年 社会科】  
ナスの植付け指導（「ちどり植え」の仕方）

地産地消

吉名町の生産者から



【5年 総合】  
ジャガイモの植付け・収穫指導

感謝の心

吉名町農家レストランの方から



【2年 生活科】  
ダイコンの種まき指導⇒交流活動

## テーマ3

## 家庭や地域との効果的な連携や啓発のための方策

### 1 学級懇談会における取組

○食生活に関する児童・保護者アンケート結果から実態を把握し「栄養バランス」「食事のマナー」「家庭での実践力」の3点を重点課題とした。啓発資料を作成し、課題解決に向けて具体案を提案した。

### 2 給食参観・試食会の取組

○1年生の保護者を対象に、児童の給食参観をし、竹原市教育委員会 学務課専任栄養士から栄養バランスの整った朝ごはんの重要性について話していただき、食について考える場を設定した。

給食参観・試食会（1年生保護者対象）



栄養バランスの整った

### 3 食事マナー週間の取組

○毎月第一週を食事マナー週間とし、正しい食事マナー定着に向けて、曜日ごとにめあてを決め、給食時間に取組んできた。

食事マナー週間として

○学校での実施後、「食事マナーカード」を家庭に持ち帰り、家庭での子ども達の様子や励ましの言葉を書いていただくようにした。



### 4 「おはしマナー検定」の取組

○毎月19日食育の日に行う。検定内容は、5級から達人までステップアップしていく。全学年児童が意欲的に参加し、楽しく正しいはしの持ち方を習得することができた。

おはしマナー検定



【夏野菜の収穫】



「3た」親子料理教室

### 5 夏休み「3た」親子料理教室の実施

○親子で料理を作る場を設定したことにより、食への興味関心が深まり、家庭での実践力を身に付けることができた。

校内の学級園で、ナス、ピーマン、トマト、カボチャを親子で収穫しました。5年生がボランティアの方にお世話になり収穫したジャガイモもたっぷりを使い、親子で料理を楽しみ、旬の食材を味わいました。



6年児童



【女性会の方の話】



地産地消 郷土料理で レッツ クッキング!

### 6 吉名町福祉活動への参加

○女性会の方が地域の方へ弁当を配っておられる福祉活動へ参加させていただいた。児童は弁当の一品として「ポテトサラダ」を作り、パック詰めの作業を体験した。

## 7 食育だより 月一回発行

- 食に関する情報や子ども達の食に関する学習の発信を継続した。学習した内容をタイムリーに掲載し、保護者啓発をしてきた。
- 7月の食育だよりでは、食事マナー週間やおはしのマナー検定、マイはし作り体験学習についてお知らせし、家庭での食生活へつながるように工夫した。

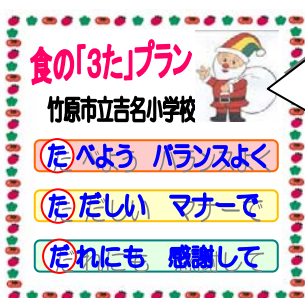
【食育だより7月号からの抜粋】



## テーマ1～3に共通する具体的計画

○家庭での実践力を培うために

- ① 食生活に関するアンケートの実施（4月） ⇒ 学級懇談会での保護者啓発資料作成（5月）
- ② 食の「3た」プランの啓発



- 本校児童の課題をもとに「たべようバランスよく 正しいマナーで だれにも感謝して」という食の「3た」プランを立て、指導目標を分かりやすく伝える工夫をした。
- 栄養素である赤黄緑も3つ、サンタさんも3本ピースそして帽子も3色。吉小小食の「3た」プランを実行することで、サンタさんの袋の中に入っている健康・体力アップ、学力アップ、心の安定などたくさんのプレゼントが届くという意味が込められている。
- 指導目標を明確化したことにより、児童・教職員・保護者・地域が一体となって取組を進めることができた。

- ③ 親子3た料理教室の実施（7月）
- ④ 「自分の朝ごはんをつくろう」コンクールへの応募（8月）
- ⑤ 食の「3た」チャレンジ（長期休業中の課題）

家庭科で得た知識や体験をもとに

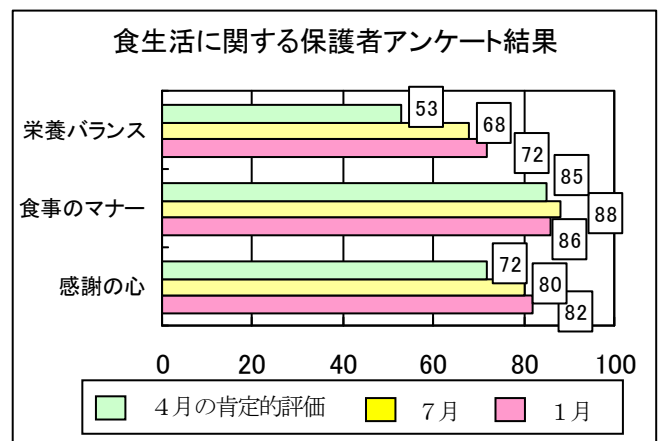
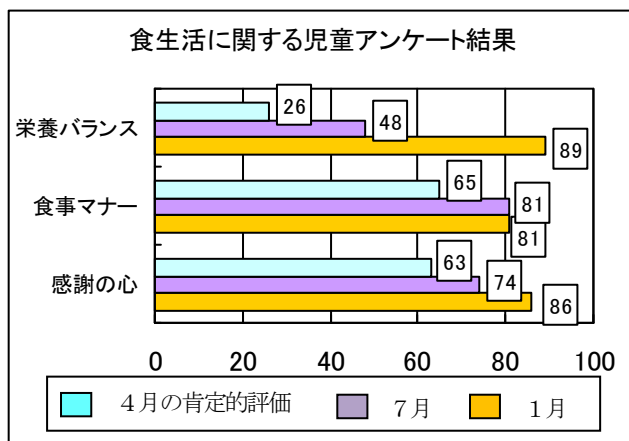
『たまご料理にチャレンジ』



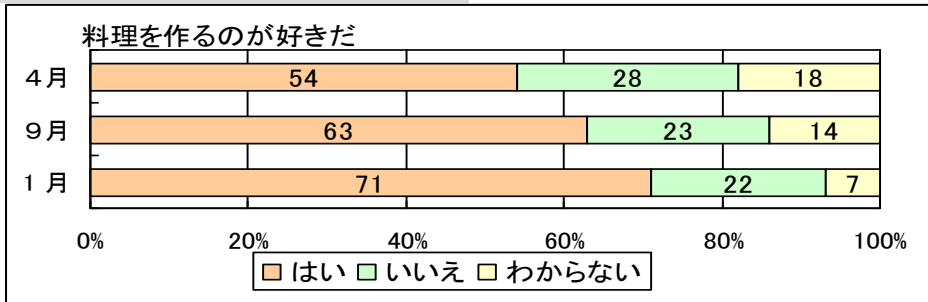
夕方みんなが家に帰るまでにいろいろ工夫をして料理をしてくれるようになりました。本当に助かりました。おじいちゃんにも作ってあげていましたね。そんな優しい気持ちです。忘れられないです。

## 数字で変化のあった事項について

○食生活に関する児童・保護者アンケートの結果

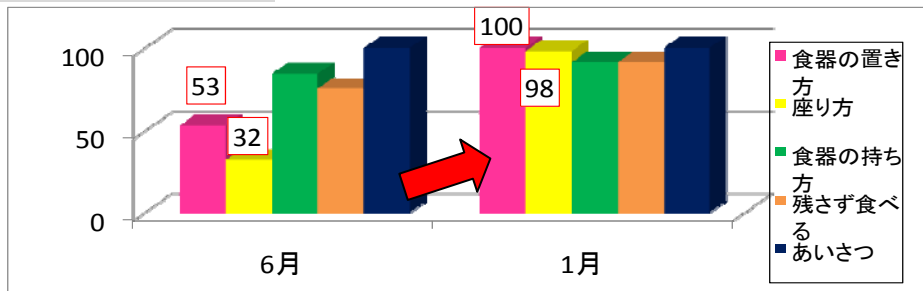


○食生活に関する児童アンケートの結果



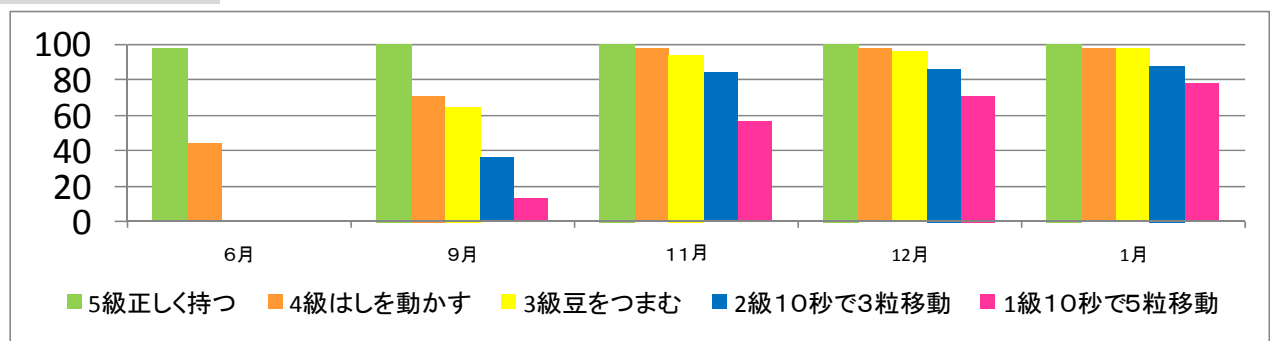
☆料理を作るのが好きと答えた児童が54%から71%にアップした。

○食事マナー週間の結果



☆正しい食器の置き方を指導した結果、身に付いた児童が53%から100%にアップし、習慣化してきた。

○おはし検定の結果



事業全体を通じて、特に効果のあった方策等について

- 発達段階に応じた学習内容の系統表を基に、食に関する目標を意識した授業づくりの実施
- 地域人材等を活用した指導形態の工夫
- 正しい知識を身に付けるためのマナー週間の設定・おはし検定の実施
- 食育だよりの発行（毎月1回）
- 親子「3た」料理教室の実施
- 保育所・中学校との体験・交流活動
- 食の「3た」チャレンジ実施（長期休業中の食に関する実践力育成のための課題）

今後の課題(今回の事業により新たに見えた課題など)

- 【テーマ1】食の指導目標について・・・
  - ①食の指導目標の重点化を図る。
  - ②計画的な保・中との連携が必要である。
- 【テーマ2】授業改善について・・・
  - ①継続的・探究的な学習活動の工夫等の授業改善を継続する。
  - ②児童理解及び個に応じた指導を充実させる。
- 【テーマ3】家庭・地域への啓発について・・・
  - ①食育だより等による発信の工夫をする。  
(分かりやすく、タイムリーに)
  - ②家庭からの返信を次の取組へ生かす。